

☆国体補助員御苦労様でした！

前号では、自転車競技補助員の声を届けたので、今回の「心清ら」では 9/28(リハール 1CD)、9/30(1CD)、10/1(1AB)に行われた相撲競技に補助員として参加してくれた1年生の声を(抜粋して)届けます。

- ・国体(相撲)に出ている選手を見て、競技にかける気持ちが違うなと感じました。勝ったら仲間と思いきり喜んでいたり、負けたらとても悔しがっていました。補助員の仕事は大変だったけど、このような選手がたくさんいたのでやりがいがありました。
- ・福井県の試合になると他の県と比べても歓声がとても大きく、私も頑張りたいと強く思いました。めったにできない貴重な体験ができてよかったです。
- ・ずっとプラカードを持っていた埼玉県が優勝したので埼玉県とはあまり縁が無かったが嬉しかったです。優勝が決まったとき監督に握手を求められたが少し戸惑ってしまいました。
- ・福井県選手団の成年男子は、1回戦は 3-0 で勝ちました。やはり地元の応援によって力をもらえたのかなと思いました。僕も冬の国体に出ることを目標にします。
- ・トップレベルの相撲は、とても迫力があり、オーラがあり、とても楽しませてもらいました。(補助員として東を示す)赤紐を渡したとき、(選手が)ありがとうと言ってくれてとても嬉しかったです。
- ・プラカードを持つ係だったので、凄く近くで試合を見ることができました。凄くいい経験になりました。楽しかったです。
- ・相撲の選手を初めて見ました。どの県の選手もとてもがっしりした人が多くてびっくりしました。サポーターとしてしっかりと選手を誘導することができたのでよかったです。
- ・審判の名前を変える仕事をして、3試合に一度審判をかえることを知りました。この仕事はとても重要な仕事で、ミスなくしなければいけないので、補助員だけでなく専門の大人といっしょに仕事をしました。相撲を間近で見れてよかったです。
- ・自分の持っているプラカードの県の選手をいつの間にか応援していました。地元国体は 50 年に一度なのでよい経験でした。

*他にも、たくさんの意見をいただきました。ありがとう。

担任の先生方は、必要部分を読み聞かせ、しばらく教室掲示して下さい。